市民利用スペースの設え(案)について

過去のワークショップや地区連絡会で頂いたご意見に基づき、発注 仕様書(案)に反映させる記載内容をまとめております。

今回は、その中の市民の方々も利用できるスペースについて報告させて頂き、内容をご確認頂いたうえで、発注仕様書の作成に向けて引き続き検討・調整を行ってまいります。

3つの要望

- ① コミュニティ施設の整備
- ② 安全、防災、災害時対応
- ③ 環境学習の場の整備

①【コミュニティ施設の整備】

地元からの要望

- ○会議室・音楽室・体育館などのコミュニティ施設の整備
- 〇大戸公会堂の代わりになる施設の整備

発注仕様書(案)

整備内容

●研修室の整備

・研修に利用できる(約 100 m)

●多目的室の整備

·多目的室(約60~80 ㎡)

●研修室

- ・研修に利用できるように、椅子やテーブルを置くこと。
- ・椅子やテーブル等を、収納できるスペースを設けて、広いスペースが確保できるようにす
- ・天井にプロジェクターと電動ロールスクリーン等を取り付け、映像学習に対応できるように
- ・床は柔軟な素材のタイルカーペット仕様にする。
- ・市民の方々も利用できるスペースとする。

●多目的室

- ・軽めの運動ができるように、床はフローリングもしくは長尺シートとし、音響に配慮する。
- ・市民の方々も利用できるスペースとする。



●研修室の例 (カーペット敷き)



●多目的室の例 (フローリング)

② 【安全·防災·災害時対応】

地元からの要望

○災害時に一時的に避難できるスペースの確保

発注仕様書(案)

●研修室の整備

・研修室を災害時の一時的な避難に対応することができるスペースとする(約 100 ㎡)

●防災備蓄倉庫の整備

・施設の1階に、外部側から出入りできる倉庫を整備する(約50㎡)

●研修室

- ・災害時の一時的な避難に対応することができるように、床は柔軟な素材のタイルカーペット仕様にする。
- •1 階はプラントスペースのため、2階に整備する。

※町田市の地域防災計画では、近隣の「ゆくのき学園」が避難施設として指定されています。

整備内容

●防災備蓄倉庫

- ・物資の搬出入が、しやすいようにする。
- ・扉は、屋内側と屋外側に設け、屋外側扉の近くに鍵箱を設ける。
- 非常用コンセントを設ける。
- ・収納棚を設け、備品を保管できるようにする。

参考イメー



●研修室(避難対応)例 (カーペット敷き)

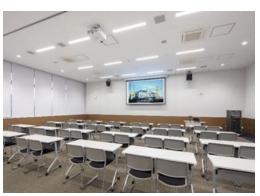


●防災備蓄倉庫の例

3

③【環境学習の場の整備】 地 元からの要望 ○環境学習ができるスペースの整備 ○工場見学のためのスペースの整備 発注仕様書(案) ●利用者ホールの整備 ·約80人~120人が収容できる(小学校3クラス分)利用者ホール(約180 m) ●利用者ホール ・施設見学者に、映像などで説明を行うスペースとする。 ・室内は、防音に配慮する。 整備内容 ・見学者説明用の音響・映像設備(パソコン対応)を設ける。 ・工場の様子が、カメラ映像で見られるようにする。 ・椅子、テーブル等を、収納できるスペースを設ける。 ・市民の方々も利用できるスペースとする。

参考イメー



●利用者ホールの例 (防音に配慮した床・壁材)

③【環境学習の場の整備】

地元からの要望

- ○環境学習ができるスペースの整備
- ○工場見学のためのスペースの整備

発注仕様書(案

●情報展示スペースの整備

・市のごみに関わる情報コーナーや環境学習が可能なスペース(約80 m²)

●見学者コースの整備

・バリアフリーと安全に配慮した動線とし、工場見学ができるコース

●情報展示スペース

- ・見学者コースに面したスペースとし、ごみに関わる情報、ごみ減量の啓発、その他環境学 習に関する様々な展示ができるようにする。
- ・廊下と兼用してもよい。
- ・環境学習用の展示物に必要な設備(照明、コンセント、スピーカー等)を設ける。
- ・施設説明用の模型を展示する。

整備内容

●見学者コース

- ・施設見学者は、利用者ホールで説明を受けた後、工場見学、情報展示スペースでの 環境学習等を行い、利用者ホールに戻るコースにする。
- ・見学者コースの通路は、バリアフリーと安全に配慮した動線とする。
- ・各場所には、案内表示を設け、わかりやすい表現とし、他国語併記を行う。

参考イメー



●情報展示スペースの例 (廊下と兼用スペース)